

キラリ★八代人



千丁中学校 2年
大嶋 千桜さん

「競泳の池江璃花子選手のようなみんなが憧れる、世界でメダルを取れる選手になりたい」と話すのは全国中学校水泳大会、ジュニアオリンピックの100メートルバタフライでの優勝など、全国の舞台で活躍中の大嶋千桜さん。大嶋さんは4歳の時、兄の影響により始めたトライアスロンの強化の一環で水泳を始めた。本格的に競泳に取り組み始めてからは、めきめきと頭角を現し、今では日本のトップ選手だけが出場できる日本選手権やジャパンオープンにも出場している。

「潜水キックは誰にも負けない自信があります」。大嶋さんの持ち味は水に潜ったまま水中を進む潜水キックだ。持ち前のキック力で前半から飛ばしていける反面、

目指すは世界の舞台



▲数々の全国大会で活躍する大嶋さん

大嶋さんが見据えるのは2021年に福岡で開催される世界水泳。笑顔で表彰台の一番高いところに登る姿を夢見て泳ぎ続ける。

「残り50メートルや25メートルのところでタイムが落ちてしまう」と後半のレースに不安を残す。持久力強化のために練習では試合よりも長い200メートルを泳ぎ込み、弱点克服に努めている。

今後の目標は日本選手権とジャパンオープンの決勝に残ることだという。昨年はどちらの大会でも自分の力を発揮できず予選を通過できなかった。「練習でできたことは大会でもできると信じています。そのために日頃から試合に向けての準備を行っています」と日々の練習を大事にしている。

社員の声

- ・技術や伝統を受け継ぎながらも独自で新しい商品を開発・製造・販売できることに魅力を感じます。お客さんからの褒め言葉は励みになり仕事にも力が入ります。(柄木製造部・男性・29歳)
- ・品質に力を入れ、日本全国に商品を届けているという誇りを持って仕事に取り組んでいます。また、従業員の仲が良くアットホームな職場です。(柄木製造部・男性・62歳)



社長メッセージ

昭和元年創業以来、包丁・カマ・ナタ・クワなど刃物を製造するかじやとして地域に根差してきました。3年前から木柄製品の製造も手掛け、国内では稀な刃物と柄木の両方を製造するメーカーとして販路を開拓中です。今年6月に開発した漆塗りの包丁柄は、樫を素材として堅く・丈夫で、耐水性・防腐蚀性にも優れ、国内はもとより海外への引き合いもあっています。これからも MADE IN KUMAMOTO を発信していきます。

発見 ★元気印の会社No.20

今月の元気印の会社は、平成30年度“八代市未来チャレンジ企業”に認定された「有限会社福島刃物製作所」です。



《会社概要》
有限会社 福島刃物製作所
 代表取締役 福島 賢二
 所在地 八代市二見下大野町 2072
 ☎ 38 - 9857
 HP <http://fukushima-hmn.com>
 従業員数 7人
 事業内容 刃物や柄木の製造・卸・販売

